

大雪山国立公園表大雪地域山岳関係者による
情報交換会議事録

日時：平成 25 年 6 月 7 日(金)

13:30～15:30

場所：美瑛町「四季の情報館」

1. 開会挨拶（佐藤自然保護官）
2. 挨拶（野川自然保護官）

3. 確認事項（佐藤 R）

当日資料の不足確認、出席者自己紹介。

※出席予定者で当日欠席者 別紙名簿のとおり

当交換会の議事内容は後日環境省や大連協の HP で公開したいこと、共同通信の記者が来ている旨の説明。

4. 情報交換

■各団体からの報告（資料 1 より）

各機関より今年度の登山道における整備予定箇所、活動予定箇所等の報告が行われた。（欠席の美瑛町役場は美瑛山岳会内藤氏より代読、大雪山国立公園パークボランティア連絡会、ガイドオフィス風の計画は司会（佐藤 R）より代読。）

資料 1 への記載事項に付け加えて説明された計画は下記のとおり。

上川中部森林管理所：6/8 から 10/11 まで GSS を雇用し、巡視活動など行う予定。

上川南部森林管理所：5/20 から GSS を雇用し、高山植物盗掘パトロール、登山道巡視等行う予定。

上川総合振興局環境生活課：白金、望岳台、吹上温泉、現在土砂崩れで通行止めだが天人峡遊歩道のトイレの維持管理、高原温泉沼巡りコースに仮設の橋を設置を予定。

上川総合振興局南部森林室：例年通り、7月上旬から9月中旬まで高山植物盗掘防止パトロールを行う予定。

東川町：土砂崩れがあった天人峡遊歩道について関係機関と連携を図り早急に復旧を図りたい。

上富良野町：十勝岳上富良野山岳会へ登山道の枝払い等を依頼予定。

美瑛町役場（美瑛山岳会が代読）：十勝岳火山砂防情報センターの階段の亚克力板を取り替えて

いる。8月一杯かかる予定。

日本山岳会北海道支部：高山蝶・高山植物の盗掘防止パトロール、セイヨウオオマルハナバチ防除活動等 25名/105回行う予定。上川・十勝周辺に高山植物の高山植物のパンフレット配布を予定。

上川山岳会：6月下旬に黒岳7号目付近の残雪カッティングを予定。

美瑛山岳会：H22に設置した木道、北向沢のハシゴの維持管理、黄金ヶ原周辺のハイマツも刈払いたい。

十勝岳上富良野山岳会：カミホロカメットク山避難小屋の屋根が壊れ、先日雪出しを行った。

層雲峡VC：主に黒岳・赤岳・緑岳のリアルタイムな情報を発信。通年、観察会開催予定。

北海道山岳ガイド協会：利用者側なので、特に計画はないが、ボランティアとして労働力の提供はできる。

りんゆう観光：黒岳石室は6/15オープン。石室の管理、石室トイレの管理・協力金の徴収率アップに努めたい。

(有)風の便り工房：ヒグマ情報センターの管理、高原温泉に点在する沼の沼巡り、地図の作成。

山楽舎 BEAR：大雪山のガイド、登山講座、ゴミ拾い、笹狩り、環境保全登山等。

北海道山岳整備：現時点では未定だが、資料9, 10（環境省の新規提案）に則り、近自然工法の登山道整備をやっていききたい。また、過去の近自然工法の記録・啓蒙活動を行いたい。

大雪山倶楽部：パトロール、マナーアップ、啓蒙活動を行う予定。

大雪山自然学校：清掃・補修ボランティアツアー、旭岳自然保護監視員の業務を受託。姿見園地付近の目印やロープ張り、登山道の軽補修、雪割り、姿見園地の3分レクチャー。望岳台、天人峡のトイレの清掃活動、旭岳野営上の管理。

大雪と石狩の自然を守る会：ヒグマ大学にて動植物や大雪山の成り立ち等について講座を行っている。

東川エコツーリズム推進協議会：東川中心のエコツアーを開催。

5. ■意見交換

意見交換の場が出た質疑などは下記のとおり。

北海道山岳整備：層雲峡本流林道（沼ノ原登山道に通じる林道）が通行止めだが、いつ開通予定か？

上川中部森林管理所：今年度 10/31 まで工期予定。降雪前を目指す但未定。由仁石狩・全ての沢との交差点で橋損傷、復旧未定。予算要望はしている。

北海道山岳ガイド協会：由仁石狩林道及びポンユニ石狩林道はできるだけ早急な復旧を望む。もし、署名が集めてそれで開通できるならば、署名活動する。

上川中部森林管理所：参考にする。

山楽舎 BEAR：天人峡から化雲岳に向かう登山道、滝見台の道は倒木や荒廃が酷く危ないので、観光客が減る。工事予定はあるか？

上川中部森林管理所：復旧は難しい。通行止めを検討中。

風の便り工房：天人峡・滝見台の通行止めがわかるのはいつか？地図を作成するために、期日を知りたい。

上川中部森林管理所：6 月末までには結果を出したい。

山岳ガイド：自然保護監視員らしき人が旭岳・姿見園地付近でコマクサを除去していた。何故か？

大雪山自然学校：本来であればコマクサは旭岳・姿見園地には生息していないはずの植物なので、自然の状態に戻すために外来種として駆除した。

6. ■新規提案

関係団体から情報交換会時に示された活動計画を聞くのみという従来のスタンスを今年度からは協働型に取り組む関係者に限っては、情報交換会時に各者から提案のあった活動計画で作業を補完し合い、慢性的な人員の不足を解消し、相互乗り入れ可能な協働型の取り組みを新規提案する旨を佐藤 R より説明。

7. ■新規提案に関する意見交換

上川中部森林管理所：作業者なのか、盗掘者なのか、一般利用者から見てもわかるようにしないでいいのか？

佐藤 R：腕章や身分証等を配布し、それを付けながら作業してもらうなど、対応を考えたい。

北海道山岳整備：事後報告でいいのか？

佐藤 R：事前が好ましいが大変なので、資料1～3に出ている計画に限る。

北海道山岳整備：天人峡・クチャンベツの荒廃や、各担当エリアの荒廃ポイントを知りたいが、把握しているか？

佐藤 R：近々、登山道調査が入るので、把握できる。

北海道大学大学院：作業を補完し合うだけでうまくいくのか？コルサルの調査は判ったが、我々とコルサルでは荒廃認識が異なるかもしれない。

佐藤 R：良い指摘。協働の関係者にもアンケートなどにより、荒廃状況をお知らせ頂きたい。

山楽舎 BEAR：情報共有が FAX や紙媒体なのがアナログすぎる。一目でわかるフェイスブック等を使った方がいい。

佐藤 R：色々な方が居るので、フェイスブックだけというのは考えていない。(現在フェイスブック利用者に挙手をしてもらおうと利用者は半数ほどの人数)

北海道山岳整備：直轄工事がはじまって10年が経つが、技術・人・行動力がないために、荒廃も進み、10年前にと変わっていない気がする。実際に設計・施工をしている業者を呼んでは如何か。

佐藤 R：設計・施工業者を呼ぶのは良いアイデアです。また、中岳温泉の登山道工事はフトンカゴを利用し今後はメンテナンスが減ると思われる。

美瑛山岳会：今時期も望岳台には観光客やツアーバスが入っているが、トイレがまだ開いていなく、観光協会にトイレに関する苦情の電話が増えている。また、古いので直してほしい。

上川総合振興局生活環境課：トイレの改築は要望はするが、緊急度は低い。また、レストハウスが開かないと、水が引けないのでトイレを山開き前から開放するのは難しいが、維持管理には努める。

8. ■その他

美瑛山岳会より「登山歩道修理等」ボランティア事業の説明。

初年度は旭川山岳会や札幌等の登山愛好者に声かけをして人員は集まりそうだが、他地域の山岳会は乗り出しにくく、来年度は集まるのかが心配である。

9. ■閉会（15：30）